

正 誤 表

「コンパス医薬品情報学」(第2版第1刷)

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。あわせて、一部情報更新を行います。

頁	行, 箇所	誤	正
40	↑ 9	PMDA 宛に報告する。	PMDA 宛に報告する。なお、医薬品、医療機器、再生医療等製品および医薬部外品・化粧品別に報告用紙が異なるので注意が必要である。
40	↑ 6	2018年4月までに52万4662件	2019年7月末までに60万2137件
40	↑ 3～↑ 1	また、患者副作用報告として、患者自身または患者家族がPMDAのウェブサイトからオンラインで報告することが試行的(2017年12月現在)に実施されており	さらに、「予防接種法に基づく副反応疑い報告 (https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/prev-vacc-act/0003.html)」や患者自身または患者家族が直接PMDAに報告する「患者副作用報告 (https://www.pmda.go.jp/safety/reports/patients/0004.html)」など
150	課題 4-15	ペプチドエースつぶタイプ	胡麻麦茶
163	図 5・8	<p>(下図に差し替え)</p> <p style="text-align: center;">図 5・8 製品回収に伴う代替薬の採用に関する対応と情報の流れ</p>	
170	課題 5-6	スタチン類とフィブラート系薬が原則禁忌なのは知っていますが、あくまでも原則で、使えないわけではないですよね？もし使おうとしたら、	スタチン類とフィブラートの併用は、以前は原則禁忌でしたが、添付文書が慎重投与に変更されましたよね？もし併用するとしたら、
173	↑ 9	保険情報など、患者を管理する基本的な情報となる。	保険情報などは、患者を管理する基本的な情報である。
173	↑ 3～↑ 2	年齢の項にもあるように、ライフスタイルを考慮した支援では、	ライフスタイルを考慮した薬物療法支援においては、
174	↑ 14	患者の経済状況、要望	患者の経済状況、治療に対する要望
175	↓ 3	かかっている合併症	継続している合併症
175	↓ 20	受けている場合、また同一院内の	受けている場合のほか、同一院内の

頁	行, 箇所	誤	正												
176	↓ 8	薬剤の変更	被疑薬の変更												
176	↓ 12	ある〔間質性肺炎	ある〔例〕 間質性肺炎												
176	↑ 18	統一させておく	統一しておく												
177	↓ 4	法的義務はないが	看護記録は、診療録の一部として扱われるが、												
177	↓ 5	看護記録は	記録は												
177	↑ 8	などが記載されている	などを記載する												
180	図 6・2	<p>(下図に差し替え)</p> <p>1. 患者情報 アレルギー歴 副作用歴 他科受診 (併用薬) 処方内容 服薬状況 病歴 診断所見 検査値 など</p> <p>2. プロブレムリスト # 1 _____ # 2 _____ # 3 _____ . . .</p> <p>3. 初期計画 # 1 目標 観察プラン ケアプラン 教育プラン # 2 目標 観察プラン ケアプラン 教育プラン など . .</p> <p>4. 経過記録 ○月○日 叙述式記録 # 1 _____ S: _____ O: _____ A: _____ P: _____ # 2 _____ S: _____ O: _____ A: _____ P: _____ . .</p> <p>図 6・2 POS に基づく SOAP 形式による薬剤管理指導記録 (POMR)</p>													
236	表 7・20	<p>(下表に差し替え)</p> <p style="text-align: center;">表 7・20 リスクとリスク減少</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>イベントあり</th> <th>イベントなし</th> <th>総人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治療群</td> <td>a</td> <td>b</td> <td>a+b</td> </tr> <tr> <td>対照群</td> <td>c</td> <td>d</td> <td>c+d</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;"> 治療群のリスク = $\frac{a}{a+b}$ 相対リスク = $\frac{\frac{a}{a+b}}{\frac{c}{c+d}}$ 対照群のリスク = $\frac{c}{c+d}$ </p> <p style="margin-left: 20px;"> 相対リスク減少 = $1 - \text{相対リスク}$ 絶対リスク減少 = $\frac{c}{c+d} - \frac{a}{a+b}$ </p>			イベントあり	イベントなし	総人数	治療群	a	b	a+b	対照群	c	d	c+d
	イベントあり	イベントなし	総人数												
治療群	a	b	a+b												
対照群	c	d	c+d												
237	表 7・21	<p>(下表に差し替え)</p> <p style="text-align: center;">表 7・21 オッズとオッズ比</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>イベントあり</th> <th>イベントなし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治療群</td> <td>a</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>対照群</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>a+c</td> <td>b+d</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;"> 治療群のオッズ = $\frac{a}{b}$ 対照群のオッズ = $\frac{c}{d}$ オッズ比 = $\frac{\frac{a}{b}}{\frac{c}{d}}$ </p>			イベントあり	イベントなし	治療群	a	b	対照群	c	d	合計	a+c	b+d
	イベントあり	イベントなし													
治療群	a	b													
対照群	c	d													
合計	a+c	b+d													